

いしい記念病院だより

岩国市多田3-102-1

医療法人 新生会

いしい記念病院

0827-41-0114

しんせい



Vol.4 令和7年1月発行

- ・年頭のご挨拶
- ・認知症疾患医療センターより
- ・デイケアの行事の紹介
- ・精神科作業療法について
- ・森副院長のコラム

医療法人新生会 理念

- ・お客様・ご家族のご希望に沿った医療・介護をさせていただきます。
- ・お客様を尊重し、人権を守ります。
- ・地域とのつながりを大切にしたい、やさしいサービスをさせていただきます。

基本方針

- 1 患者様中心の医療を行い、説明と同意に基づいた安心できる医療を提供します。
- 2 患者様の尊厳や自立を大切にし、社会倫理・医療倫理を遵守します。
- 3 地域ニーズにしっかり応え、医療機関や施設との連携を図り、一貫した公正な医療を提供します。
- 4 安心で質の高い医療を提供するために、医療知識・技術の習得や自己研鑽に励みます。
- 5 専門多職種によるチーム医療を行い、社会復帰・在宅支援を推進します。



年頭のご挨拶



病院長 高橋 俊文

新年あけましておめでとうございます。旧年中は地域の皆様には当院に多大なるご厚情を賜り心より御礼申し上げます。皆様にとって本年が素晴らしい年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

昨年は、機能評価の受審を通して様々な病院機能の改善・強化を進めてまいりました。外来待合室の拡充、保護室の改修工事などのハード面の整備も行いました。さらなる病院機能の充実のためには、電子カルテの導入が必須との結論に達し準備を進めている所です。

感染症対策には特に力を入れてきましたが、病棟において新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し対応に追われることもありました。特に認知症治療病棟における感染予防は、患者様の疾患特性もあり、非常に難しく対応に苦慮しました。一般病院に比べ、面会制限などが少し厳しいのではないかとのご指摘もございましたが、感染対策が難しく免疫機能の低下が著しい患者様が多いことなど、当院の特性についてご理解いただければ幸いです。

外来新患や入院依頼の紹介がますます増える中で、空床の確保、円滑な紹介患者の受診や入院受け入れなどに課題がありました。地域移行支援、退院支援に力を入れ、内科病棟と精神科病棟の連携強化を進めるなどの取り組みに一定の成果がありましたが、さらなる取り組みの強化を図り、地域医療のニーズにしっかりと答えていけるよう努力してまいりたいと考えております。

令和7年は巳（へび）年です。「へび」は金運・繁栄の神様とされていますが、脱皮を繰り返しながら成長する姿から医療や再生・治癒のシンボルでもあり、また粘り強く努力を重ねるものの象徴の意味があると言われております。巳年らしく、職員一同粘り強く取り組み、ひと皮もふた皮も剥けるべく病院の機能や役割を更に充実させ、しっかりと地域医療に貢献できる一年にしたいと考えております。

医療法人の理念にもある「地域とのつながりを大切にした」、「やさしい」医療を提供できるように、職員一同努力していく所存です。本年も何卒よろしく願いいたします。

認知症疾患医療センターより

令和6年度認知症疾患医療センター合同研修会

総合テーマ「認知症の人と共に歩むこと」

日時:令和7年2月9日(日) 13:00~15:30

形式:WEB研修(Zoomウェビナーによる配信)

対象: 認知症に関わる、かかりつけ医をはじめとする保健医療関係者、学生
地域包括支援センターや認知症高齢者援助機関等の介護・福祉関係者

講演Ⅰ 「山口県における認知症治療の現状と課題 抗アミロイドβ薬治療を含む最近の動向」

【講師】 脳神経筋センターよしみず病院
副院長 川井 元晴 先生

【対談】 「認知症の人からのメッセージ」
中定 ひとみ さん × 川井 元晴 先生
(やまぐち希望大使)

講演Ⅱ 「医療同意能力について考える 認知症の人の意思決定を支えるために」

【講師】 京都府立医科大学大学院医学研究科
精神機能病態学
加藤 佑佳 先生

新年明けましておめでとうございます。

2025年の干支は「巳」ですね。巳と言えば岩国の白蛇を思い浮かべる方が多数いらっしゃるかと思いますが、蛇と聞くと身震いする方もいるかと思いますが、私は お金が貯まる年と信じてしまっています。

さて、この度山口県内の認知症疾患医療センターでは合同研修会を開催することとなりました。どなたでもご興味がある方は左記QRコードか、山口県立こころの医療センター ホームページよりお申し込みできますので奮って参加ください。期限は1月31日(金)までとなります。

※参加をご希望の方は、QRコードもしくは山口県立こころの医療センターホームページ(<https://y-kokoro.jp>)からお申し込みください。参加費は無料です。



デイケアの行事の紹介

しんせいデイ・ケア



令和6年12月6日 岩国市民文化会館で開催された心身障害者の作品展に、しんせいデイ・ケアのプログラムで作成した作品数点を展示させていただきました。この作品展は、障害者の社会参加を図るとともに、障害者と障害を持たない人々のより一層の交流を深めるため障害者週間の行事の一環として実施されるものです。

他施設からの展示もあり、利用者様から「これすごいね!」「アイデアがすごいね!」「よく考えられている!」等の発言が聞かれました。機会があれば今後も参加をしていきたいと思えます。

いしい記念デイ・ケア

今年も1年
よろしくお願いたします。



精神科作業療法について～5階精神療養病棟～

精神科の作業療法とは作業を通して、心の回復を目指す、リハビリテーションです。

当院5病棟では、個別または集団で行っており、手芸などの創作活動、体操や屋外の散歩、体を動かすゲームなどの身体活動、季節のレクリエーション、学習、音楽鑑賞などの余暇活動、SST(生活技能訓練)などを通して病気の理解を深める、ストレスの対処法を知る、対人交流の練習、外出訓練など、その人に合わせた作業活動を提供し実施しています。担当の作業療法士が患者様1人1人と話し合い、理想の生活に近づけられるようにリハビリの目標を立てています。患者様の中には「頭の中に次々と考えが浮かんでくる」「ソワソワしてジッとしてられない」「いろいろ考えてしまう」「自信がない」など様々な悩み、「1人暮らしをしたい」「家族とうまくやっていきたい」などの希望も様々です。その為、患者様の悩みは1人1人違い、目的・目標は違います。作業療法を通して、生活リズムを整えたり、イライラや焦りを軽減したり、できた事を褒められ自信を回復したり、体力づくり、人とうまく関わる方法を身につけたり、社会復帰の準備などを支援していきます。薬では解決ができない生活上の悩みに向き合い、`その人らしく`社会生活を送る事ができるよう手助けをさせて頂いています。また、心だけではなく、身体合併症をお持ちの方には、理学療法士、言語聴覚士と情報を共有し対応しています。日々、作業活動を通して楽しみながら、心の安定を図って1日でも早く社会・地域に戻る事ができるようチーム医療の一員としてリハビリに励んでいます。

(リハビリ室 松井)

作業療法の様子



森 副院長のコラム

今年最初のコラムになります。前号で予言したとおり、「食欲の秋」に従って体重が3kg増えてしまいました。身体的には重い幕開けとなりましたが、気持ち的には公私ともにフットワーク良く今年も動いていきたいと思っております。



昨年、取り組んだ「研修医の指導」も今年はさらにパワーアップしていきたいと考えております。

さて、今年の干支は「巳年」。新年最初は「蛇」に関する問題を出題したいと思います。

【問題】 世界保健機関（WHO）のマークにある杖の持ち主で、「へびつかい座」のモデルにもなっているギリシャ神話に登場する「医術の神様」といえば誰でしょう？

【前号の正解】「旧暦の10月は「神無月」と呼ばれますが、全国で唯一「神在月」と呼ばれる地域はどこでしょう？」⇒『出雲地方』

外来診療担当医

内科外来 岩国市の特定健診、企業健診など各種健診も承っています。

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	田村	田村	田村 廣川	田村	廣川	廣川 非常勤医師

精神科外来 認知症疾患医療センターと連携を取り、認知症のご相談も受け付けています。

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	高橋	高橋 森	中村	森	中村 高橋	/
13:00～16:00	高橋	高橋 森	中村	森	中村	

編集後記

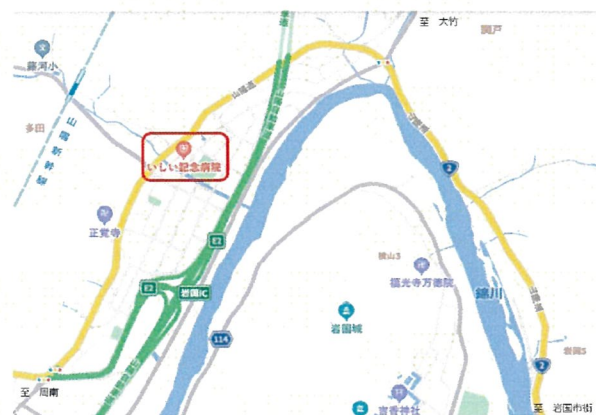
今年は西暦2025年です。2025を素因数分解すると $3^4 \times 5^2$ ととってもきれいに表せます。また、 $1^3+2^3+3^3+4^3+5^3+6^3+7^3+8^3+9^3$ の和でもあります。

2025は不思議な数字なので今年はいいことありそうです。（巳年なので白蛇神社に初詣に行ってきました）城市



編集担当者：城市、栗田、柳井
URL：<https://i-shinseikai.or.jp/>

交通アクセス



下多田バス停より徒歩5分
駐車場30台（満車の場合はお電話ください）